



## ～～赤ちゃんからが大切～～



❁ 4月、新入園児もたくさん入園してきました。

特に、0歳児のカトレア組さんは、まだまだ歩く事もままならず、ミルクを飲んでいる小さな小さな赤ちゃん達です。

そんな、赤ちゃんのママ達の中には、当然「ママ一年生」の方もいらっしゃる、毎日の子育てに奮闘している日々だと思います！そこで、ママ達に「ちょっとした朗報情報」をこの「子育てページ」で紹介していきたいと思いますので、宜しくお願い致します。

❁ まず・・・赤ちゃんは、生後3ヵ月までは、気道と食道が分かれています。

生後3ヵ月を過ぎると、呼吸と飲み込み機能は大きく変わり始めます。食べ物を噛んで食べるようになる準備と、気道を確保する準備が整い始めるのです。

★生後3ヵ月を過ぎると、新生児頃のようにミルクを飲みながら鼻で呼吸が出来なくなってきました。その為に、ちょうど呼吸と飲み込みの問題が起こる生後2ヵ月から3ヵ月の間に抱くと反り返っていた子ども達は誤嚥（ごえん）を起こす様になります。

更に、そういった子ども達の中で、免疫力や感受性が高い場合には、アトピー性や喘息などの呼吸器系と飲み込みに関わる問題で症状が出始める事があります。

❁ 呼吸と飲み込みと言う観点で見ると、抱き方は生後3ヵ月とそれ以降では異なってくるのが分かりますが、抱いていて反り返ってくる赤ちゃんは、呼吸と飲み込みの問題がある『口呼吸』が始まっている事が多いと言われています。

これは、大きく口を開いて、おっぱいを乳輪まで含んで噛むように飲むと言う姿勢（ラッチオン）を親が作り上げる事で防げます。

（生後3ヵ月までの間に、最も生命現象に関わる仕事をさせる事が大事なのです。）

★浅い飲み方は、赤ちゃんの呼吸と嚥下を悪くするだけでなく、お母さんを乳腺炎などになりやすくしてしまいます。

そして、ラッチオンで得られるもう一つの大きな利点は、口を大きく開けて飲むことが出来る為に、顎を大きく動かす事が出来る子どもに育っていく事です。

顎を大きく動かす事で、歯の生え方も正しい位置に生える様に（発達空隙）が出来始めるのです。

正しい歯並びは虫歯になりにくい事や、しっかり食べ物を噛んで食べられる子になる事で、脳の活性にもつながっていくのです・・・

♡子どもの成長は、小さい赤ちゃんの頃から一つ一つの積み重ねですね。  
時には大変な事もありますが、そんな時は周りの人にも手助けしてもらいながら、立派に成長していく事を励みにしていきましょうね。